

事務事業名	農村公園整備事業				担当	産業環境部 農政課 農村整備係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			電話番号	0285-83-8143		
施策名	1	農業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成6年度～）		
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1.農業費	6.農地費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	良好な地域環境とやすらぎの場を確保するために公園を整備し、整備された公園の良好な維持管理を図る。 【管理方法：地元住民による管理組合に年間委託】 1.両沼公園 2.西田井駅前公園 3.堀内はたの里公園 4.京の泉公園 5.四季の里公園 6.せせらぎ公園 7.宮川水辺公園 8.三谷農村広場 9.谷貝新田公園 10.砂ヶ原西公園 【管理方法：シルバー人材センターに随時委託】 1.大根田公園 2.長沼西部農村公園 3.下物井公園（両沼公園のトイレ清掃を年間委託） 【管理方法：定期巡回による点検、修繕】 遊具、ベンチ、トイレ、水道、外灯、植栽							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 27年度実績 ・定期巡回による点検、修繕及び放射線量測定 ・管理組合との年間委託契約と委託料支払 ・清掃、草刈りなどの業務委託契約と委託料支払 ・電気料、水道料の支払 ・大雨、台風後の異常点検  28年度計画 ・27年度同様 （H27より、谷貝新田公園、砂ヶ原西公園について、地元管理組合に年間管理を委託）	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
ア	管理組合委託金額	千円	1,600	1,600	1,600	1,800	1,800	
イ	シルバー等委託	千円	931	848	629	690	1,010	
ウ	修繕料	千円	217	919	112	472	327	
エ	需用費・その他	千円	976	960	973	1,569	1,776	
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・農村公園	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
ア	農村公園数	箇所	11	11	11	13	13	
イ								
ウ								
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・公園機能の維持保全を図る ・利用者の安全を確保する	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
ア	良好に管理された農村公園	箇所	11	11	11	13	13	
イ								
ウ								
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・農村の良好な生活環境の確保	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
ア	市民が真岡市をきれいなまちと感じた割合	%	69.7	72.1	74.9	76.7	79.0	
イ								
ウ								
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	3,724	4,327	3,314	4,531	4,913	
	事業費計(A)	千円	3,724	4,327	3,314	4,531	4,913	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	140	140	140	140	
		人件費計(B)	千円	588	569	591	587	
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,312	4,896	3,905	5,118	5,500	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	圃場整備事業と合わせて公園を整備し、地域に根付いた公園とするため、地元の管理組合に、管理業務を委託することとなった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	26年度までの農村公園の管理は、農政課と都市計画課両方の費用（特に需用費）で管理されていた。27年度から、適宜に分別し管理している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農村公園の良好な維持管理は、活力に満ちた農村対策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共性の高い施設に対する事業であり妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市が所有する農村公園に対する事業であり適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 良好に管理されているため、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 良好な生活環境が維持できない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 地元管理組合やシルバー人材センターへの委託料は最低金額である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 委託契約事務以外は、月に1回の巡回で対応し、最低限の業務時間である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農村公園は、不特定多数の住民が自由に利用し、公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							